

大阪市立長吉東小学校「学校いじめ防止基本方針」

令和6年4月

1. いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

（いじめ防止対策推進法 第2条）

2. いじめの未然防止についての取組

【基本姿勢】

いじめは、すべての児童に起こり得る問題である。すべての児童が安心して学校生活を送ることができるようにしなければならない。また、すべての児童をいじめに向かわせないためにすべての教職員が取り組む必要がある。平素から教職員が共通理解を図り、同一方向で進み、日常的にいじめの問題に触れることにより「いじめは絶対にゆるさない」という意識を学校全体としてもつ。

未然防止として、児童が教職員と信頼できる関係であること、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加できる授業づくりや集団づくりを行っていくことである。また、児童の自覚や自信を育むことにより、自他を認め合う人間関係を作り出すことが、いじめの未然防止につながると考える。

（1）授業改善について

- ① 子ども同士が学び合えるような授業を取り入れ、話し合い、教え合うことで、子ども同士のつながりを広め、深める。
- ② わからないことがわかると言え、まちがったことやまちがった回答に誰も笑わない、教室の雰囲気をつくる。
- ③ 子どもが発言したときに、みんなで聞こうとする。

（2）自己有用感を高める

- ① 一人一人の子どもが主体的に活動できる、みんなのためになる、喜ぶことを自主的に行う活動などに取り組む。
- ② 問題行動を指導するときは、「どならず」「おどさず」の指導を徹底し、個人の尊厳は保持する。
- ③ 日ごろから子どもの良いところを見つけ、ほめるように努める。

（3）いじめを許さない・見逃さない雰囲気の醸成

- ① 「ちくちくことば」ではなく「ふわふわことば」を使うように徹底指導するとともに、「死ぬ」「殺す」などの言葉に対しては、それが人の心を大きく傷つける言葉であることを理解さ

せ、これらの言葉を使わない、聞きのがさない雰囲気をつくる。

- ② 安心できないことや自由を奪うようなこと、自信を無くしてしまうような言動をされたときに、「いや」「No !」「やめて」ときっぱりと言うことを教える。言えないときは、友だちに声かけて一緒に言ってもらようすにすること、また、「いや」と言えなくても困っている子を見かけたときは、知らん顔せずに、その子の横に立ち「そんなことをしてはだめ！」と言う、言えないときは先生に言いに行くなど、これらの正しい行動を教える。
- ③ いじめられたとき、いじめを見たときは、必ず先生に報告にくるように指導する。
- ④ 「いじめ」についての理解を深めるため、道徳や学級活動における取り組みの充実を図る。
- ⑤ ラインや落書きで個人情報と流すと、相手の心を深く傷つけてしまうだけでなく、他人に悪用されて取り返しのつかないことも起こるということをしっかりとわからせる。
- ⑥ 人権教育の充実、読書活動や体験活動などにより、子どもの社会性を育むとともに、他人の気持ちを共感的に理解できる豊かな情操を培い、自他を認めることのできる態度を養う。また、自他との意見の相違があっても、互いに認め合う力や、ともに解決していく能力を育てることによりいじめに向かわない態度を育てる。

3. いじめの早期発見についての取組

【基本姿勢】

いじめは、大人が気づきにくく判断しにくい形で行われることを認識し、ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いをもって、早い段階から関りを持ち、いじめを隠したり軽視したりすることなく、積極的に認知する。

- ① 日ごろから、授業及び授業以外の時間の子ども一人一人の様子に気を配り、子どもの発する心のサインを見逃さず、子どもの変化に気づく力を高めることが必要である。
- ② 子ども一人一人に声かけ、日記などのコメント書き、一緒に遊んだり話したりするなど、1対1のやり取りを多く持ち、子どもが悩みを打ち明けられる信頼関係を築く。
- ③ 定期的なアンケートや教育相談なども実施する。

4. いじめの早期解決についての留意点

【基本姿勢】

発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込まず、速やかに組織的に対応する。被害児童を守り通すとともに、教育的配慮の下、毅然とした態度で加害児童を指導する。指導においては、謝罪や責任を形式的に問うのではなく、社会性の向上、児童の人格の成長に主眼を置いた指導を行う。

- ① いじめが起こった時は、聞き取り、指導を行い、その軽重に関わらず、管理職に報告する。また、起こった全てのいじめ事案については、その概要と対応を必ずメモして残しておき、卒業するまで保管しておく。
- ② いじめられた側の子どもや保護者の意見や要望をしっかり聞き尊重する。
- ③ いじめられた子どもの個人の尊厳を保持することが最優先されるべきで、集団づくり、心の通

い合う人間関係づくりを強調するあまり、いじめられた子どもの個人の尊厳を保持することがおろそかにならないように注意する。

- ③ いじめを許さないという方針のもとに取り組むが、これはいじめという行為を許さないということで、いじめた子どもを許さないという意味ではない。いじめた子どもの人格形成を健全なものにすることにも留意する。

5. いじめ問題に取り組むための校内組織

(1) 学校内の組織

① 構成

校長・教頭・教務主任・生活指導部長・養護教諭・各学年（含む特別支援学級担当・担任外）より1名の教職員

② 役割

- ・いじめの疑いに関する情報や、児童の問題行動にかかわる情報の収集や記録、共有を行う。
- ・いじめの疑いにかかる情報があった場合には緊急会議を開催し、迅速な情報の共有、関係児童への事情聴取、指導および支援の方針の決定、保護者との連携を行う。

③ 年間計画

【調査等】

○児童対象いじめアンケート調査 年3回（6月・10月・1月）

○教育相談を通じた学級担任による児童からの聞き取り調査

年3回（6月・10月・1月）

【いじめ・体罰防止委員会】

○年10回（5・6・7・9・10・11・12・1・2・3月）

【研修会】

○人権教育研修会（年1回）

○生活指導研修会（年1回）

(2) 保護者や地域・関連機関との連携

① 情報発信・啓発

ホームページや学校だよりなどで、学校教育や人権教育やいじめのことなど情報発信を積極的に推進する。

② 学校協議会

学校協議会でいじめについての取り組みの報告をし、地域連携を深める。

(3) 取組内容の検証

① 「運営に関する計画」との関連

「運営に関する計画」の中間評価、最終評価でいじめ問題も検証する。

② 未然防止の推進・再発防止に関しての取組

児童が友人や教職員と信頼できる関係の中、安心・安全に学校生活を送ることができ、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加できるような授業づくりや集団づくり、学校づくりに取り組む。児童に集団の一員としての自覚や自信が生まれることにより、互いを認め合える人現関係・学校風土を児童自らが作り出していくよう努める。

6. 重大事案への対処

①重大事態への発生と調査

重大事態とは

- ・児童が自殺を企図した場合
- ・身体に重大な障がいを負った場合
- ・金品等に重大な被害を被った場合
- ・精神性の疾患を発症した場合

などのケースが想定される。児童が一定期間、連続して欠席しているような場合、学校の設置者または学校の判断により、迅速に調査を行う。

また、児童や保護者から、いじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったときは、その時点で学校の判断の如何に問わず、重大事態が発生したものとして報告・調査等に当たる。

②重大事態の報告

重大事態が発生した場合、大阪市教育委員会に事態発生について報告する。

③調査の趣旨および調査主体

調査の趣旨は、重大事態に対処するとともに、同種の事態の発生の防止に資するために行うものである。学校は、重大事態が発生した場合には、直ちに大阪市教育委員会に報告し、大阪市教育委員会はその事案の調査を行う主体や、どのような調査組織にするかについて判断する。

④調査を行うための組織

大阪市教育委員会または学校は、その事案が重大事案であると判断したときは、当該重大事態にかかる調査を行うため、速やかに、その下に組織を設置する。

⑤事実関係を明確にするための調査の実施

いつ（いつ頃から）、誰から行われ、どのような態様であったか、いじめを生んだ背景事情や児童の人間関係にどのような問題があったか、学校・教職員がどのように対応したかなどの事実関係を、可能な限り網羅的に明確にする。この際、因果関係の特定を急ぐべきではなく、客観的な事実関係を速やかに、調査する。

⑥調査結果の提供及び報告

大阪市教育委員会または学校は、いじめを受けた児童や保護者に対して、事実関係等その他の必要な情報を提供する責任を有することを踏まえ、調査により明らかになった事実関係（いじめ行為がいつ、誰から行われ、どのような態様であったか、学校がどのように対応したか）について、いじめを受けた児童やその保護者に対して報告する。

⑦調査結果の報告

調査結果については、当該地方公共団体の長に報告する。

7. いじめ発見の際の流れ

重大事案については、スクールカウンセラーや主任児童委員、青少年指導員も組織に入る。

